

著者紹介

阿部 秀哉 (正会員)

1991年東北大学工学部情報工学科卒業。同年日本電気(株)入社。メインフレームOSのオンライン制御ソフトウェア開発を経て、現在、グリッドミドルウェア開発に従事。

阿部 欣成 (正会員)

1979年東京大学理学部情報科学科卒業後、富士通(株)入社。ソフト開発技術・ツールの開発、運用管理、ストレージ管理ソフトの企画、開発に従事。現在ソフトウェア事業本部運用管理ソフトウェア事業部長代理。

伊藤 智 (正会員)

材料シミュレーションやビジネス分野における大規模計算に関して、応用アルゴリズムやシステムの研究を行ってきた。現在は、産業分野におけるグリッド技術の応用について研究開発を推進中。

太田 賢 (正会員)

NTTドコモマルチメディア研究所勤務。博士(工学)。モバイルコンピューティング、端末セキュリティに関する研究に従事。訳書「コンピュータネットワーク第4版」など、電子情報通信学会、ACM各会員。

大向 一輝 (正会員)

2000年同志社大学工学部知識工学科卒業。2002年同大学院工学研究科知識工学専攻博士前期課程修了。2005年総合研究大学院大学複合科学研究科博士後期課程修了。博士(情報学)。同年より国立情報学研究所助手。2006年4月より総合研究大学院大学助手(併任)。現在に至る。2003年度情報処理振興機構未踏ソフトウェア創造事業スーパークリエイター。セマンティックWeb、パーソナルネットワークを用いた知識共有の研究に従事。人工知能学会、電子情報通信学会各会員。

加藤 恒昭 (正会員)

1983年東京工業大学大学院総合理工学研究科電子システム専攻修士課程修了。日本電信電話(株)在職後、2000年より東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻助教授。博士(工学)。質問応答、語彙意味論等の研究に従事。

神門 典子 (正会員)

1994年慶應義塾大学文学研究科博士課程修了。学術情報センター助手等を経て、2004年より国立情報学研究所教授。博士(図書館・情報学)。テキスト構造を用いた検索と情報活用支援、情報アクセスシステムの評価等の研究に従事。

岸本 光弘 (正会員)

東北大学卒業。博士(情報科学)。富士通(株)ITコア研究所主管研究員。国立情報学研究所客員教授。GGF運営委員、OGSA-WG共同議長。IEEE Gordon Bell Prize, GGF Leadership Award。

工藤 裕 (正会員)

1995年慶應義塾大学大学院理工学研究科管理工学専攻修士課程修了。同年(株)日立製作所入社。現在、システム開発研究所主任研究員。ITシステム開発現場における知識管理、システム運用管理技術の研究に従事。

國藤 進 (正会員)

1974年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年富士通(株)国際情報科学研究所入所。1982年より4年間、新世代コン

ピュータ技術開発機構研究所に主任研究員として出向。1992年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授兼情報科学センター長。1998年より同知識科学研究科教授。人工知能、グループウェア、知識創造支援システムの研究に従事。博士(工学)。人工知能学会、電子情報通信学会、計測自動制御学会、日本創造学会、IEEEなど各会員。

佐川 暢俊 (正会員)

1985年(株)日立製作所中央研究所入所。数値シミュレーション関連研究に従事。2002年より同社システム開発研究所に異動し、ミドルウェア関連研究の取りまとめに従事。2005年より同所企画室在勤。現在に至る。

佐々木一陽 (正会員)

1993年徳島大学大学院工学研究科知能情報工学専攻博士前期課程修了。同年富士通(株)入社。ネットワーク管理ソフトウェアの開発を経て、現在、運用管理ソフトウェアの開発に従事。

佐治 信之 (正会員)

1982年東京工業大学理工学研究科情報科学専攻修士課程修了。同年NEC入社。言語処理系、CORBA、B2B/ECシステム開発等に従事。現在はビジネスグリッド、経営支援システム等に取り組んでいる。

佐々 政孝 (正会員)

1948年生。1970年東京大学理学部物理学科卒業。現在東京工業大学情報理工学研究科数理・計算科学専攻教授。理学博士。プログラミング言語、コンパイラ、プログラミング環境に興味を持つ。

鈴木 敬

NTTドコモマルチメディア研究所勤務。モバイルコンピューティング、端末セキュリティに関する研究に従事。

田崎 英明 (正会員)

1980年東京工業大学大学院理工学研究科情報科学専攻修士課程修了。同年富士通(株)に入社。HAクラスタ関連のソフトウェア開発を経て、最近はグリッドコンピューティングの研究開発に従事。ACM会員。

舘村 純一 (正会員)

1994年東京大学工学系研究科情報工学専攻修了。博士(工学)。東京大学生産技術研究所講師を経て、現在NEC Laboratories America勤務。

照沼 和明

NTTドコモ移動機開発部ソフトウェアプラットフォーム開発担当部長。FOMA端末の通信プロトコルスタックやアプリケーションプラットフォーム等、移動機の基盤ソフトウェア開発に従事。

富田 悦次 (正会員)

1942年生。1966年東京工業大学理工学部電子工学科卒業。1971年同大学院博士課程修了。工学博士。東工大助手、電気通信大学助教授を経て、現在、同大学情報通信工学科教授。本会MPS研究会主査、CS領域委員長等を務めて、現在、理事。本会フェロー、電子情報通信学会フェロー、船井情報科学振興賞等受賞。専門は理論計算機科学とその実際の応用。

中 誠一郎

1981年早稲田大学理工学部電気工学科卒業。同年日本電気に入社。カーネル開発、運用管理ミドルウェア開発を担当。1990～91年にスタンフォード大学で超並列I/O研究に従事。現在、グリッド推進センター長。

中島 秀之 (正会員)

東大情報工学専門課程修了(工学博士)。産総研サイバーアシスト研究センター長を経て2004年より公立はこだて未来大学学長。認知科学会元会長、本会副会長、同フェロー。

中田登志之 (正会員)

1985年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程単位取得退学。同年、日本電気(株)入社。2005年より同社中央研究所主席技術主幹。IT関連研究を担当。京都大学工学博士。GGF EGR-RG共同議長。

中田 秀基 (正会員)

昭和42年生。平成2年東京大学工学部精密機械工学科卒業。平成7年同大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。同年電子技術総合研究所研究員。平成13年(独)産業技術総合研究所に改組。現在、同所主任研究員。平成13～17年まで、東京工業大学 学術国際情報センター研究・教育基盤部門客員助教授を兼務。博士(工学)。並列プログラミング言語、オブジェクト指向言語、グローバルコンピューティングに関する研究に従事。

萩谷 昌己 (正会員)

昭和57年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。京都大学数理解析研究所を経て、現在、東京大学大学院情報理工学系研究科教授(コンピュータ科学専攻)。

福井 恵右

1987年富士通(株)に入社後、2004年(株)富士通研究所に異動。グリッドコンピューティングにおけるデプロイメント技術に関する研究に従事。GGF ACS-WG共同議長。

藤野 修司

早稲田大学理工学部工業経営学卒業。1986年(株)日立製作所入社。現在、ソフトウェア事業部システム管理ソフト設計部門でシステム運用管理ソフトウェアの開発に従事。

幕田 幸男

1974年神戸大学理学部物理学卒業。同年富士通(株)に入社。運用管理ソフトウェアおよびグリッドミドルウェアの開発に従事。

松下 光範 (正会員)

1995年大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻制御工学分野博士前期課程修了。同年日本電信電話(株)に入社。現在に至る。博士(工学)。情報可視化、自然言語理解、インタラクションデザインに関する研究に従事。

まつもとゆきひろ (正会員)

(株)ネットワーク応用通信研究所特別研究員。1990年筑波大学第三学群情報学類卒業。1993年よりオブジェクト指向プログラミング言語Rubyの設計・開発を行っている。日本では数少ないフルタイムオープンソース開発者でもある。1997年より現職。

丸山不二夫 (正会員)

東大教育学部卒業。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。「最北端・最先端」をモットーに、稚内で新しいスタイルとコンテンツの情報教育を展開。「新しい時代の新しい大学」を目指して、社会人IT技術者をターゲットとしたサテライト校を秋葉原に設置。アジアでのIT教育も熱心に展開している。現在、稚内北星学園大学学長。

宮川 伸也 (正会員)

2002年東北大学大学院情報科学研究科情報基礎科学専攻博士後期課程単位取得退学。同研

究科助手として並列言語処理系の研究に従事。2003年NEC入社。現在はビジネスグリッドの研究開発に従事。

森 拓也 (正会員)

1997年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻修了、修士(工学)。同年、日本電気(株)入社。グリッドセキュリティの研究開発に従事。

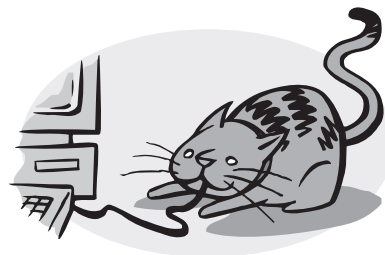
吉野 松樹 (正会員)

東京大学理学部数学科卒業。1982年(株)日立製作所入社。1987～88年米国コロンビア大学大学院にてMSCS取得。コンパイラ、開発環

境、APサーバの開発等に従事。現在、ソフトウェア事業部先端ミドルウェア開発部部長。

渡辺 裕 (正会員)

1985年北海道大学大学院博士課程修了。同年NTT入社。NTT研究所において画像の高効率符号化に関する研究およびMPEG標準化に従事。平成12年早稲田大学大学院国際情報通信研究科教授、工学博士。



◻◻ ACM・IEEE・IEEE-CSの会費割引特典について◻◻

各学協会との協定により、本会会員の会費が割引になります(本会 Web ページ: <http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/kyoryoku.html> 参照)。会員の皆様におかれましては大いに特典を活用していただき、学術・技術の向上にお役立てください。なお、入会申込み等詳細につきましては各事務局に直接お問い合わせください。

1. ACM (Association for Computing Machinery) <http://www.acm.org/>
正会員 (Voting Member) 会費を 20% 割引
2. IEEE (The Institute of Electrical and Electronic Engineers, Inc.) <http://www.ieee.org/>
Member の会費を 10% 割引

【照会/入会申込先】

◆ ACM 日本事務局

〒107-0062 東京都港区南青山 5-10-5 九曜ビル 903
Tel (03)5466-1761 Fax (03)5466-1762

◆ IEEE 東京支部

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-6-2 ツカサビル 6F
Tel (03)5776-7670 Fax (03)5776-7671



国際情報オリンピックで日本選手が 金メダル2, 銅メダル1

国際情報オリンピック (IOI = International Olympiad in Informatics) に日本から10年ぶりに4人の高校生が参加し、金メダル2, 銅メダル1を獲得しました。受賞したのは次の諸君です。

- 金メダル 片岡 俊基君(三重県 高田高校2年)
- 金メダル 渡部 正樹君(東京都 筑波大学附属駒場高校3年)
- 銅メダル 今城健太郎君(兵庫県 甲陽学院高校3年)

片岡君と渡部君は数学オリンピックにも参加し、片岡君は銀メダル、渡部君は金メダルを獲得しました。また、受賞した3人はスーパーコンピュータコンテストにも参加しており、片岡君の属す高田高校チームは2位、今城君の甲陽学院高校チームは1位でした。

情報オリンピックは、数学オリンピック、物理オリンピック、化学オリンピック、生物学オリンピックと並んで開催されている、高校生以下の生徒を対象とする国際科学オリンピックの1つで、3題ずつの問題をそれぞれ1日5時間ずつかけて、2日間で計6題解くプログラムを作り上げ、その正しさを問題ごとに与えられる複数のテストデータで検証したり(バッチ型の問題)、組織委員会が用意した相手プログラムと相互にやり取りしたり(応答型問題)、出力の良さを競ったり(出力型問題)することにより審査して、金・銀・銅メダルが与えられます。非常に難問が出題されます。今年は新しい傾向として、最も良い答を出題者も知らず、参加者がいろいろと知恵をしぼり答の良さを競う問題もありました。

今年は、76カ国・地域から284人が参加し、金メダル24名(全体の約12分の1)、銀メダル48名(同6分の1)、銅メダル71名(同4分の1)が与えられました。

情報オリンピックへの選手選抜および強化訓練は、情報オリンピック日本委員会(NPO法人、理事長:守屋悦朗・早稲田大学教授)が当たっています。情報処理学会は、後援しています。

10月号により詳しい解説が掲載される予定です。

(守屋悦朗/情報オリンピック日本委員会理事長)

ITText シリーズ新刊

情報処理学会編

ITText **Linux演習** 前野譲二・落合 昭・生野荘一郎・塩澤秀和・高島俊徳 共著
A5判/224頁/本体2,500円(税別)

ITText **分散処理** 谷口秀夫 編著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText **インターネットプロトコル** 阪田史郎 編著
A5判/272頁/本体2,800円(税別)



 **オーム社**
Ohmsha

101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233)0641 FAX 03(3293)6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>
本体価格(税別)は変更する場合があります。



おはいすらん



夏休みを取り青森へ帰省した際に、7月23日オープンしたの青森県立美術館を覗いてみました。

青森県立美術館は、延べ床面積約16,000㎡（地上2階、地下2階）、白い大きな建物でした。縄文遺跡として有名な三内丸山遺跡に隣接し、遺跡からイメージを得たという「土の壁」と「白い壁」の空間が特徴でした。

開館記念として「シャガール『アレコ』とアメリカ亡命時代」が開催されていました（9月24日まで）。

展覧会は、ユダヤ人のマルク・シャガール（1887～1985）が、ナチス・ドイツの迫害を逃れるために、1941年、住み慣れたフランスからアメリカに渡り暮らした約7年間にスポットを当てたものでした。目玉は、ニューヨークのバレエ団、バレエシアターの依頼を受け、1942年に作成したバレエ『アレコ』の巨大な舞台背景画（1点約9m×15m）4幕（内3点を青森県立美術館が収蔵）でした。第1幕「月光のアレコとゼンフィラ」、第2幕「カーニヴァル」、第3幕「ある夏の午後の麦畑」、第4幕「サンクトペテルブルクの幻想」が、『アレコホール』と名

づけられた巨大な吹き抜けの空間の壁四面に1点ずつ展示されている様子は誠に圧巻でした。さらには、シャガールがデザインし、妻のベラが作成した舞台衣装20点ほども飾られ、独創的な色合いでユニークなデザインはとても楽しいものでした。他にも、世界中から集められた油彩画、水彩画など196点におよぶ作品が展示され、日本初公開の貴重な作品も多数含まれ見ごたえのある展覧会でした。

シャガールに興味のある方は、ぜひ、青森県立美術館に足を運んでみてください。

青森県立美術館館長を兼任している三村県知事は、「絵が並んでいけば美術館という時代は終わった。これからは演劇、音楽、映画などさまざまな芸術を総合的に発信する場とし、多くの人に足を運んでもらう美術館にしていきたい」と語っていたそうです。

ぜひ、旭山動物園のように全国から人が集まってくるような美術館になってもらいたいです。

（加藤良子／規格部門）

■ 各種問合せ先 ■

（社）情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事業／国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、6月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「バイOMETリック認証システム」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■一般の新聞を読むと生体認証方法に移行すれば安全性が保証されるような印象を受けるが、実際には問題点もあることや、その技術の実際が分かり大変なためになった。問題点と長所が利用情報ごとに体系的にまとめてあり、初心者にも抵抗なく読めた。どれも粒ぞろいの記事であった。バイOMETリック認証方法の脆弱性について一般の人にもよく理解しておく必要があると感じた。(匿名希望)

■バイOMETリック認証は、実用化までに多くの問題を抱えていることが理解できました。(匿名希望)

■セキュリティ技術は悪意を持つ者とのイタチゴッコであること、つまり決め手はあり得ないことを認識すべきだ。述べられているのは情報処理技術には違いないが、先々まで生き残るサイエンスではないと受け取った。(匿名希望)

■「我が国金融機関におけるバイOMETリック認証技術の活用について」は非常によくまとまっており、かつ身近な内容でしたので興味深く読ませていただきました。特に、それぞれの銀行のバイOMETリックに対するスタンスの違いや今後の取り組みは有益な内容であったと思います。(平島大志郎)

■国内のみならず、海外の研究動向にも論じた論者があり、参考になりました。(水野光朗)

■犯罪に手を染める人が存在するということが技術を進歩させるのかもしれないが、いつかそのような人が存在しない時がくることを祈るだけである。(匿名希望)

■門外漢であるが、知識を仕入れる必要にせまられていたためグッドタイミングの特集でした。(根津芳香)

■現実に使われ始めており、技術的には興味深い。しかし、社会に対して色々な副作用がある技術ではないかと思う。特に技術に疎い方々に対する詐欺などの手段に使われるのではないかと危惧がある。いったん本人だと認証されると、それが不正な手段で行われた場合でも、抗弁できないのではないか。リスクを理解しながら利用する人と、理解できない人との格差がより広がるのではないか。技術で解決できる問題ではなく、社会的手法によって回避、あるいは解決すべきだ。(匿名希望)

■特に興味があり面白かったが、全体としてもう一段掘り下げた内

容にしていだぎたいと思いました。以前指摘いたしました、参考文献数が極端に少ない記事がありますので、分野外の人間が知るきっかけとなるようもう少し増やしていだぎたいと思います。

(匿名希望)

■時機を得た企画と思います。ただ、内容が重複している部分が見受けられたのは残念です。(平川正人)

■パスポートにICチップで顔写真が埋め込まれるようになってから約3カ月経ち、セキュリティのデジタル化は日常に浸透し始めていると感じていたので、興味深く読んだ。(匿名希望)

■イラストや写真も多くて読みやすく、大変参考になった。ただ、標準化の話が重複して出てくるので、エディタ、あるいは著者間で調整していただきたかった。(匿名希望)

特集「情報処理学会創立45周年記念『50年後の情報科学技術をめざして』記念論文」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■滅びゆく日本が思い浮かびました。このようになるのでしょうか。心を通わせるのはやはり人間どうしてロボットではありません。元気の出る触発するような特集をお願いします。(山田園裕)

<「優秀論文賞：妖精・妖怪の復権—新しい『環境知能』像の提案—」について>

■大変楽しく読めた。暗い事件が多い昨今このような夢と希望をあててくれるような構想には開発者として勇気付けられた。また斬新な論文の構成にも感心させられた。(匿名希望)

■大変興味深く読みました。「見守り」という視点が新鮮に感じられました。また、情報処理の分野がここまで人間に寄り添うところまでできたのかと感慨を深めました。(岩本茂子)

■環境知能という言葉は聞きなれないものでしたが、マルチモーダルなコミュニケーションを妖精・妖怪に例えた発想は斬新で、とても興味深く読ませていただきました。(菊地 誠)

■著者らの見識の深さを物語りかつ未来予想とそれを実現するための23の課題がよくまとめられていると感じました。50年後に本論文で述べられていることが実現されるよう、情報技術にかかわる者として少しでも貢献していきたいと思った次第です。情景の例として、今後50年後の社会における、より重要で本質的な課題に妖精や妖怪が貢献できることを示すものがあればなお良かったと思います。(匿名希望)

■環境知能「まっしゅるーむ」との情景が描かれており、人が楽しさやうれしさを感じている様子を具体的にかつ現実的に想像しやすく思いました。また、これらを実現するための問題もまとめられており、非常に面白く読ませていただきました。ある意味、ペットによる癒しに近いものを感じさせられ、将来に情報科学技術が人間のためになると強く期待させてくれる論文であったように思います。(平島大志郎)

<「未来創像賞：50年後の情報科学技術をめざして」について>

■わかりやすさと、明るさに感心した。多くのアイデアが実現できそうに思えてくるところがとてもよい。(匿名希望)

■夢を感じる事ができて面白かったです。(匿名希望)

■図がなく文字のみなのに、イメージが浮かびました。すばらしい。
(黒田幸明)

解説「設計開発における知識継承」につきましては、以下のような感想・ご意見をいただきました。

■期待に十分応えてくれる内容でためになった。
(匿名希望)

■日本が技術立国として生き残っていくためには設計開発における知識継承は重要な問題であると思います。低コストを目指すあまりに、アウトソーシングに走ってしまえば、知識継承が行われにくいことになり、これは日本の生命線を絶つことになりかねません。
(櫻井成一朗)

■重要な話題について、この分野の第一人者による解説を興味深く読ませていただきました。海外の取り組みについての紹介があればさらに嬉しかったです。
(匿名希望)

■公私共に知識の継承の必要性を感じる出来事があったので、とても参考になりました。紹介されていた「失敗知識データベース」にアクセスしてみたところ、なかなか面白かったです。
(匿名希望)

コラム「オープンソース事情『OSSコミュニティの日本事情』」につきましては、以下のような感想・ご意見をいただきました。

■少ない紙面の中に、OSSコミュニティの構成と日本におけるOSSの概要がコンパクトにまとめられていると思いました。有益な内容だと思いますので、可能ならば本コラムについてはもう少し紙面をとって、内容をより掘り下げて執筆していただきたく思いました。
(平島大志郎)

■近年注目を集めているOSSについて、論者が連載されることは、きわめて意義深いと思います。
(水野光朗)

その他の記事につきましては、以下のような感想・ご意見をいただきました。

■報告「学会創立45周年記念シンポジウム併設展示報告」について

「日本のコンピュータ年表」はすばらしい。これは展示が終了したらどのようになるのであろうか。できればWebなどで残して欲しい。それにしても特殊なコンピュータだったからか、この年表にFACOM231がないのは、これでコンピュータを学び仕事をはじめた者として残念。ニューヨーク博覧会に初めて展示された国産コンピュータと聞いている。
(江木鶴子)

■報告「日本学会議と『情報学』の新展開」について：情報学は、医学や数学に比べて、比較的若い研究領域です。情報学の学問体系としての発展を考えると、日本学会議において、情報学領域の会員が増加することは、好ましいと思います。
(水野光朗)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■本年は「国際標準化100年」らしいので、100年を総括する記事をお願いしたい。
(匿名希望)

■「設計開発における知識継承」に関連して、「大規模システムの運用における知識継承」というテーマでご執筆いただければと思います。東証の事件を引き合いに出すまでもなく、大規模データベースシステムのように大規模でミッションクリティカルなシステムの運用ノウハウの知識継承が現場の企業では行われていない気がします。
(櫻井成一朗)

■サッカーのワールドカップのように、トップクラスの国際会議では、日本の採録論文と海外のそれとの開きが以前より大きくなっている気がします。このあたりを分析し、あるべき提言をまとめた記事を掲載していただければと存じます。
(匿名希望)

■以前に交通渋滞のひどいところに住んでいて、「渋滞」という現象に興味を持ちました。渋滞の研究について知りたいです。
(匿名希望)

【本欄担当 濱 利行, 柳本豪一/書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。<URL:<http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4709.html>



IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2006年				
	論文誌「システム LSI 設計とその技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/07-L.html	9月15日(金)		
	会誌「情報処理」48巻表紙デザイン募集 http://www.ipsj.or.jp/07edit/topic/design-boshu.html	11月1日(水)		
	論文誌「情報システムを支えるコンピュータセキュリティ技術の再考」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/07-N.html	11月24日(金)		
	論文誌「情報教育～理念・理論・実践～」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/07-H.html	11月30日(木)		
	論文誌「ソフトウェア工学の理論と実践」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08edit/journal/tokushu/07-M.html	11月30日(木)		
9月14日(木)～ 9月15日(金)	第128回マルチメディア通信と分散処理・第61回グループウェアとネットワークサービス・第33回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DPS128GN61EIP33.html	7月7日(金)	当日のみ	はこだて未来大学
9月14日(木)～ 9月15日(金)	第38回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MBL38.html	7月7日(金)	当日のみ	文部科学省研究交流センター国際会議場(つくば市)
9月14日(木)～ 9月15日(金)	第61回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MPS61.html	7月20日(木)	当日のみ	大阪大学 豊中キャンパス
9月15日(金)	第43回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DSM43.html	7月14日(金)	当日のみ	鳥取環境大学
9月15日(金)	第3回教育学習支援情報システム研究グループ発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CMS3.html	7月20日(木)		京都大学 学術情報メディアセンター
9月15日(金)	第6回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/BIO6.html	7月25日(火)	当日のみ	奈良先端科学技術大学院大学
9月15日(金)～ 9月17日(日)	エンタテインメントコンピューティング2006 http://www.entcomp.org/ec2006/ronbunyoko.php	6月16日(金)	当日可	日本科学未来館
9月16日(土)～ 9月17日(日)	北陸支部「平成18年度電気関係学会北陸支部連合大会」 http://jhes.etc.kanazawa-it.ac.jp/	8月7日(月)		金沢工業大学(石川県石川郡)
9月20日(水)	シンポジウム「産業界が求める情報システム人材のスキル 2006」 http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/S-edIS2006.html		定員になり次第	専修大学神田校舎
9月22日(金)	放送コンピューティングシンポジウム2006「通信・放送の融合」 http://www.ipsj.or.jp/sig/bccgr/		9月15日(金)	金沢工業大学大学院 東京虎ノ門キャンパス
9月26日(火)	四国支部「平成18年度電気関係学会四国支部連合大会」 http://sjciee.ymw.ne.jp/	7月28日(金)		愛媛大学城北キャンパス(松山市文京町)
9月27日(水)	第108回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/AL108.html	7月27日(木)	当日のみ	北陸先端科学技術大学院大学
9月27日(水)	第2回組込みシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EMB2.html	8月4日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所 関西センター
9月28日(木)～ 9月29日(金)	東海支部「平成18年度電気関係学会東海支部連合大会」 http://www.ieice.org/tokai/rengo/	7月7日(金)	9月15日(金)	岐阜大学
9月28日(木)～ 9月29日(金)	第26回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ITS26.html	7月20日(木)	当日のみ	はこだて未来大学
9月28日(木)～ 9月29日(金)	九州支部「電気関係学会九州支部連合大会」 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月21日(金)	8月31日(木)	宮崎大学木花キャンパス
9月28日(木)～ 9月29日(金)	第54回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.tom.comm.waseda.ac.jp/~avm/society54.html	7月28日(金)	当日のみ	九州工業大学戸畑キャンパス
9月29日(金)	第57回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DD57.html	7月21日(金)	当日のみ	日立製作所大森ベルポート
9月29日(金)～ 9月30日(土)	第120回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/HI120.html	7月28日(金)	当日のみ	島根大学松江キャンパス
10月5日(木)～ 10月6日(金)	第108回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/HPC108.html	8月7日(月)	当日のみ	京都大学
10月11日(水)～ 10月13日(金)	2006 International Symposium on Ubiquitous Computing Systems (UCS2006) http://www.ukoreaforum.or.kr/ucs2006/			COEX, Seoul, Korea
10月11日(水)～ 10月13日(金)	The 3rd International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2006) http://www.icmu.org/icmu2006			BCS London Office, London, U.K.
10月12日(木)～ 10月13日(金)	第61回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/PRO61.html	8月11日(金)	当日のみ	豊橋商工会議所
10月12日(木)～ 10月13日(金)	北海道支部「情報処理北海道シンポジウム2006 Info-Hokkaido 2006」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html	8月25日(金)		公立はこだて未来大学(函館市)
10月19日(木)	連続セミナー 2006 第4回「情報システム部門のマネジメント」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-4.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
10月19日(木)～ 10月21日(土)	第1回ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2006 (SES2006) http://ses2006.sys.wakayama-u.ac.jp/	7月14日(金)		日本科学未来館
10月19日(木)～ 10月21日(土)	第1回組込みシステムシンポジウム (ESS2006) http://ess2006.media.kyoto-u.ac.jp/	7月14日(金)		日本科学未来館
10月20日(金)	第63回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLP63.html	8月18日(金)	当日のみ	早稲田大学理工学部
10月20日(金)	関西支部「情報処理学会関西支部平成18年度支部大会」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/kansai/ipsj-kansai/H18sibutaikai/sibutaikai-info.html	8月25日(金)	10月16日(月)	大阪大学 中之島センター
10月21日(土)	中国支部「平成18年度電気・情報関連学会中国支部連合大会」 http://rentai.ee.ous.ac.jp/	8月11日(金)		岡山理科大学
10月21日(土)	第86回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CE86.html	8月31日(木)		香川大学 林町キャンパス(予定)

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
10月23日(月)～	International Workshop on Security (IWSEC2006) http://www.iwsec.org/			京都
10月24日(火)～	MPSシンポジウム－複雑系の科学とその応用－ http://www.ipl.cs.is.nagoya-u.ac.jp/~mps2006/	8月8日(火)		名古屋大学 野依記念学術交流館
10月25日(水)～	第145回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ICS145.html	7月25日(火)	当日のみ	鈴鹿サーキットホテル (三重県)
10月25日(水)～	CSS2006 (Computer Security Symposium 2006) http://www.css2006.org/	8月23日(水)	早期申込割引 適用9/21まで	ばるるプラザ京都
10月26日(木)～	第126回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLDM126.html	8月18日(金)	当日のみ	仙台作並温泉 (一の坊)
10月27日(金)～	第72回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CH72.html	8月21日(月)	当日のみ	八戸工業高等専門学校
10月27日(金)～	第67回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MUS67.html	9月1日(金)	当日のみ	関西学院大学梅田キャンパス
11月6日(月)～	第98回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/IS98.html	8月28日(月)	当日のみ	新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス
11月9日(木)～	第156回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CVIM156.html	8月25日(金)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
11月10日(金)～	第11回ゲームプログラミングワークショップ http://sig-gi.c.u-tokyo.ac.jp/#nittei	7月16日(日)	10月28日(土)	箱根セミナーハウス
11月12日(日)～	第19回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EVA19.html	9月20日(水)	当日のみ	はこだて未来大学
11月16日(木)～	連続セミナー 2006 第5回「経営戦略とIT戦略」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-5.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
11月16日(木)～	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2006 http://inolab.slis.tsukuba.ac.jp/gnws06/	9月15日(金)	10月15日(日) 事前登録は上記 事前登録後も可	暖香園(静岡県伊豆伊東温泉)
11月16日(木)～	第39回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 高度交通システム・第15回放送コンピューティング研究グループ 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MBL39ITS27.html	9月20日(水)	当日のみ	広島市立大学
11月17日(金)～	第109回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/AL109.html	9月2日(土)	当日のみ	長崎大学 文教キャンパス
11月22日(水)～	第176回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/NL176.html	8月31日(木)	当日のみ	鹿児島大学
11月23日(木)～	分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2006 http://flab.aid.design.kyushu-u.ac.jp/DSM-symp/index.html	8月21日(月)		ハウステンボスコトレ ヒト会議室
11月24日(金)～	コンピュータシステムシンポジウム (ComSys2006) http://www.ipsj.or.jp/sig/os/pukiwiki.php?ComSys2006	7月14日(金)		名古屋国際会議場
11月29日(水)～	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ http://www.ipsj.or.jp/XOOPS/	8月25日(金)		霧島ハイツ
12月1日(金)～	データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム (DBWeb2006) http://db-www.naist.jp/dbweb2006/	9月8日(金)		京都大学 百周年時計台記念館
11月30日(木)～	第58回デジタルドキュメント・ 第34回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DD58EIP34.html	9月15日(金)	当日のみ	松下電工(株) 東京本社
12月6日(水)～	連続セミナー 2006 第6回「情報システム部門の役割と人材育成」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-6.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
12月21日(木)～	第7回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/bio/index.html		当日のみ	電気通信大学
2007年				
1月15日(月)～	SAINT2007 The 2007 International Symposium on Applications and the Internet http://infonet.cse.kyutech.ac.jp/conf/saint07/	7月1日(土)		広島国際会議場
1月18日(木)～	第62回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/PRO62.html	11月10日(金)	当日のみ	メルパルク沖縄
1月19日(金)～	Asia and South Pacific Design Automation Conference 2007 (ASP-DAC2007) http://www.aspdac.com/aspdac2007/	7月10日(月)		パシフィコ横浜
1月25日(木)～	ソフトウェアアジア2007 第8回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/bio/index.html		当日のみ	タワーホール船堀 大阪大学豊中キャンパス
3月6日(火)～	第69回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/69kai/index.html			早稲田大学 理工学部 (大久保キャンパス)
3月8日(木)～	ネットワーク生態学研究グループ第3回シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			中央大学・後楽園 キャンパス
3月15日(木)～	FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム			中京大学 豊田キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 8月15日 人材募集情報(8月)更新しました
- 8月7日 ITダイバーシティフォーラム「IT分野で活躍する女性技術者・研究者と語ろう」講演・パネル討論会 参加申込受付中
- 7月27日 会誌「情報処理」48巻表紙デザイン募集

[学会からのお知らせ]

- 8月11日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました
- 8月3日 「情報教育～理念・理論・実践～」特集の論文募集
- 8月1日 平成18年度フェロー候補者推薦募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)
*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■久留米工業大学工学部情報ネットワーク工学科

募集人員 教授 1名
専門分野 当該工学科のビジュアルテクノロジー専攻(コース)では、(財)画像情報教育振興協会(CG-ARTS協会)が行う各種(CGクリエイタ、CGエンジニア、マルチメディア)検定試験合格レベルを目指した教育・実習に力を入れている。検定範囲をカバーするデジタルビジュアルテクノロジー(特に、画像処理、コンピュータグラフィクス、アニメーション)分野
応募資格 当該分野において優れた研究業績または実務経験があり、当該工学科におけるビジュアルテクノロジー専攻(コース)の教育・実習に熱意を有する方。博士の学位(着任時期までに取得見込みも可)を有することが望ましい
着任時期 平成19年4月1日以降できるだけ早い時期
提出書類 (1)履歴書(連絡先とE-mailアドレスを明記)、(2)教育・研究に対する抱負と自己アピール(2000字以内)、(3)研究業績(学術論文、国際会議論文、著書、解説、その他の研究発表、特許などのリスト。共著者名はすべて記入)または実務経験を裏付ける(開発システム、コンテンツ作品、著書・解説・記事、研究発表など)資料一覧、(4)上記(3)にかかわる資料(たとえば、主要論文コピーなど。ただし5編以内)、(5)教育実績、(6)学協会での活動歴、社会貢献実績、受賞歴など、(7)意見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先
応募締切 平成18年10月1日(必着)
送付先 〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 久留米工業大学工学部情報ネットワーク工学科 学科長 青木征男
照会先 情報ネットワーク工学科 教授 牧之内顕文 Tel(0942)22-2345 (ext.451)
その他 本学組織の詳細はWebページ(<http://www.kurume-it.ac.jp/>)をご覧ください

■山梨英和大学人間文化学部人間文化学科

募集人員 助教 1名(任期3年、5年までの更新可能、専任講師への昇任の可能性あり)
専門分野 情報工学・情報科学
担当科目 ITリテラシー演習1,2、データマイニング演習1,2、専門演習、その他
応募資格 大学院博士課程修了または満期退学もしくはこれと同程度以上の学歴あるいは業績を有すると認められる方、採用時に満35歳未満の方が望ましい
着任時期 平成19年4月1日
提出書類 履歴書(所属学会を明記、市販の書式によること)、業績リスト(論文別刷(コピー可)、著書などを添付すること)、研究内容についての分かりやすい解説(3000字以内)、活動している学会・研究会の名称、応募者について所見を求められることができる方2名の氏名と連絡先
応募締切 平成18年10月10日(必着)
送付先 〒400-8555 山梨県甲府市横根町888 山梨英和大学 学長 木田献一 「教員公募書類在中(情報)」と朱書き書留
*著書以外の応募書類は返却しませんのでご了承ください
照会先 情報メディア分野 上坂吉則 E-mail:uesaka@y-eiwa.ac.jp
その他 【選考方法】一次：書類、二次：面接(平成18年10月28日)
面接における旅費については自己負担とします

■工学院大学情報学部情報デザイン学科

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 情報デザイン領域
 担当科目 Javaプログラミング, オブジェクト指向設計論, CG, 情報デザインなど
 応募資格 年齢30～45歳程度. 博士の学位を有するか, あるいは実務経験があり同等以上の実力を有する方. また平成19年3月までに取得見込みの方も可
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 下記Webページ参照
 応募締切 平成18年10月13日(必着)
 送付先/照会先 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2 工学院大学情報学部情報デザイン学科 主任教授 椎塚久雄
 E-mail:shizuka@cc.kogakuin.ac.jp 「情報デザイン学科応募書類在中」と朱書き書留
 その他 詳細はWebページ (http://www.kogakuin.ac.jp/jinji/d_bosyu.html) を参照ください

■産業技術総合研究所グリッド研究センター

募集人員 産業技術人材型任期付研究員(仮称)または中堅採用 2名(任期5年)
 専門分野 応募資格を参照
 応募資格 グリッド技術に幅広い知見を有し, これまでにグリッド技術, インターネット技術または分散システム技術に関連した基盤ソフトウェアの研究開発やグリッド上の応用ソフトウェア開発に従事した経験を有することが望ましい. 国際的な標準化・成果普及活動に積極性があり, 産学官連携の研究体制において技術的な指導力を有する研究者を募集する
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 産総研Webページ (http://unit.aist.go.jp/humanres/ci/02koubo/2_info.html) を参照
 応募締切 平成18年10月13日
 照会先 E-mail:grid-job@m.aist.go.jp
 その他 別途ポスドクも随時募集中. 詳細はグリッド研究センターWebページ (<http://www.gtrc.aist.go.jp/>) を参照ください

■苫小牧工業高等専門学校情報工学科

募集人員 教授 1名
 専門分野 情報工学, 画像処理
 担当科目 プログラミング, 画像処理, データベース, 卒業研究, 電子・生産システム工学専攻におけるマルチメディア工学, 特別研究, 特別演習, 特別実験
 応募資格 年齢40～45歳で, 博士の学位を有する方か技術士(情報工学)の資格を有する方および第一種情報処理技術者相当以上の情報処理技術者試験に合格されている方
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(著書, 論文など), 研究・開発などの履歴リストおよび研究・開発などの概要, 教育業績リスト, 著書・論文などの原本およびコピー, 高専教育に対する抱負, 本人について参考意見を求める場合の相手方, その他
 応募締切 平成18年10月16日(必着)
 送付先 〒059-1275 北海道苫小牧市字錦岡443 苫小牧工業高等専門学校庶務課人事係 「情報工学科教員公募」と朱書き簡易書留
 照会先 情報工学科 学科長 森 重雄 E-mail:mori@jo.tomakomai-ct.ac.jp Tel(0144)67-8935 (ダイヤルイン)
 その他 詳細は本校Webページ (<http://www.tomakomai-ct.ac.jp/>) を参照ください

■成蹊大学理工学部情報科学科

募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 情報科学の分野(情報システム, コンピュータサイエンス, 画像工学, ネットワークなど)
 応募資格 博士の学位を有する方(博士(理学)を有する方が望ましい). プログラミングの授業が可能で, 教育に対する熱意のある方. 専門分野に研究実績があり, 大学院の授業を担当できる方. 着任時期に満50歳以下の方が望ましい
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(査読付き論文, 査読付き国際会議, 特許, その他の発表, 共同研究・受託研究など外部組織との連携, のように分類), 主要論文別刷(5編, コピー可), これまでの研究概要(A4用紙2枚程度), 今後の研究計画および教育についての抱負(A4用紙1枚程度)
 応募締切 平成18年10月30日(必着)
 送付先/照会先 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 成蹊大学理工学部情報科学科 主任教授 上田 徹
 E-mail:ueda@st.seikei.ac.jp Tel(0422)37-3793 Fax(0422)37-3871

■文教大学情報学部

- 募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 ネットワークコンテンツ, インタラクティブコンテンツ(コンテンツ企画・設計, コンテンツ開発管理, DTP演習, Webデザイン, Webプログラミング(JAVA, PHP, Ajax), セミナール, 卒業研究)
 応募資格 当該専門分野に関し研究業績を有する方, コンテンツ開発管理などに関する実務経験を3年以上有する方, 教育に対する見識と意欲を有する方, 採用時に40歳以下であること
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 履歴書(本学所定の用紙を使用), 教育研究業績書(本学所定の書式使用), 従来の研究内容の概説と今後の教育・研究内容に対する抱負(本学所定の書式使用, 800字程度), 最終学歴の修了証明書またはこれに準じるもの, 主要業績別刷(5編程度, コピー可)
 応募締切 平成18年10月31日(必着)
 送付先 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 文教大学情報学部 学部長 竹田 仁 「情報システム学科教員応募書類」と朱書き書留
 照会先 担当科目など:情報学部情報システム学科長 宮川裕之 E-mail:miyagawa@shonan.bunkyo.ac.jp
 事務手続など:湘南校舎総務課 Tel(0467)53-2111(代表) / (0467)54-3703(総務課直通)
 その他 Webページ(<http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/koubo/koubo.html>)を参照ください

■名城大学理工学部情報工学科

- 募集人員 教授または准教授または助教 1名
 専門分野 計算機工学
 担当科目 コンピュータアーキテクチャ, デジタル回路, デジタルシステム, ハードウェア記述言語
 応募資格 博士の学位を有し, 学部ならびに大学院教育を担当できる方. 着任時に55歳以下であることが望ましい
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 個人調書*, 教育研究業績書*, 主要学術論文別刷(コピー可), 今後の教育と研究に対する抱負(各1000字程度), 応募者の所見が伺える方2名の氏名・所属・連絡先を記した書類
 *所定様式準拠. 下記Webページより様式をダウンロードしてください
 応募締切 平成18年10月31日(必着)
 送付先/照会先 〒468-8502 愛知県名古屋市中天白区塩釜口1-501 名城大学理工学部情報工学科 学科長 津川定之
 E-mail:tsugawa@cmfs.meijo-u.ac.jp Tel(052)838-2492
 その他 Webページ(<http://www.meijo-u.ac.jp/guide/kobo/rikougaku/>)の教員公募情報を参照してください

■九州産業大学情報科学部社会情報システム学科

- 募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 コンピュータサイエンス, ソフトウェア工学, 計算機ネットワーク, データベースのいずれか. なお, ネットワーク・計算機システムの管理の経験があること
 担当科目 プログラミング系科目(プログラミング基礎, データ構造とアルゴリズム, ソフトウェア演習など). 学部内ネットワーク・計算機システムの管理の分担
 応募資格 本学の建学の理念(市民的自覚と中道精神の振興, 実践的な学風の確立)と建学の理想(産学一如)に賛同される方. 博士またはPh.D.の学位を有する方, または, 就任時までに取得見込みの方. 平成19年4月1日現在の年齢40歳以下を目安とする. 外国人の場合, 日本語が母語でない方は, 日本語を使用して講義ができる能力を有すること. 情報科学研究科博士前期課程の研究指導ができること
 着任時期 平成19年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書1通, 教育研究業績書1通(ネットワーク・計算機システムの管理への関与についての記述を含むこと), 主要な研究論文などの別刷各1通(3編程度, コピー可), 応募資格を証明するもの(修了証明書または修了見込み証明書, 学位記の写し, 研究指導教授の証明書など), 「教育に関する抱負」および「研究計画」(A4用紙各1000字程度), 応募者について意見を伺うことのできる方1名の氏名・所属・連絡先
 *履歴書・研究業績書式については, 研究者人材データベース(<http://jrecin.jst.go.jp>)よりダウンロードしてください
 応募締切 平成18年11月1日(必着)
 送付先 〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1 九州産業大学 人事部人事課
 「(プログラミング系科目)教員公募書類在中」と明記し書留 *提出書類は原則として返却いたしません
 照会先 社会情報システム学科 主任(教授) 宮崎明雄 E-mail:miyazaki@is.kyusan-u.ac.jp
 または, 情報科学部事務室 Tel(092)673-5400
 その他 選考の結果は, 後日文書により通知いたします. 審査の過程で健康診断書の提出を求めます. 最終審査の過程で, 専門分野に関するプレゼンテーションなどを含む面接試問を行います

■九州産業大学情報科学部知能情報学科

募集人員	教授または助教授または講師 1名
専門分野	計算機アーキテクチャ、システム設計系、なお、ネットワーク・計算機システムの管理の経験があることが望ましい
担当科目	ハードウェア・システム設計系科目(計算機アーキテクチャ、情報回路、情報回路設計、情報科学基礎実験、情報回路実験など)、学部内ネットワーク・計算機システムの管理の分担
応募資格	本学の建学の理念(市民的自覚と中道精神の振興、実践的な学風確立)と建学の理想(産学一如)に賛同される方。博士またはPh.D.の学位を有する方、または、就任時までに取得見込みの方。助教授または講師の場合は平成19年4月1日現在の年齢40歳以下を目安とする。外国人の場合、日本語が母語でない方は、日本語を使用して講義ができる能力を有すること。情報科学研究科博士前期課程の研究指導ができること
着任時期	平成19年4月1日(予定)
提出書類	履歴書1通、教育研究業績書1通(ネットワーク・計算機システムの管理への関与についての記述を含むこと)、最近の主要著書・論文の現物各1通(3編程度、コピー可)、応募資格を証明するもの(修了証明書または修了見込み証明書、学位記の写し、研究指導教授の証明書など)、「教育に関する抱負」および「研究計画」(A4用紙各1000字程度)、応募者について意見を伺うことのできる方1名の氏名・所属・連絡先 *履歴書・研究業績書式については研究者人材データベース(http://jrecin.jst.go.jp)よりダウンロードしてください
応募締切	平成18年11月1日(必着)
送付先	〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1 九州産業大学 人事部人事課 「(ハードウェア・システム設計系科目)教員公募書類在中」と明記し書留 *提出書類は原則として返却いたしません
照会先	知能情報学科 主任(教授) 一ノ瀬裕 E-mail:ichinose@is.kyusan-u.ac.jp または、情報科学部事務室 Tel(092)673-5400
その他	選考の結果は、後日文書により通知いたします。審査の過程で健康診断書の提出を求めます。最終審査の過程で、専門分野に関するプレゼンテーションなどを含む面接試験を行います

■東京理科大学工学部第一部電気工学科

募集人員	嘱託助手(任期:原則として3年) (a) (b)各1名
専門分野	(a)通信・情報系(情報に関心のある方) (b)エネルギー・制御系(ロボット、コンピュータ制御に関心のある方)
担当科目(予定)	(a)電気工学実験、コンピュータ実習など (b)電気工学実験、コンピュータ実習、電気磁気学演習など
応募資格	博士号取得者または平成19年3月までに取得見込みの方(着任時に学位を取得していること)で、30歳以下の方
着任時期	平成19年4月1日
提出書類	履歴書、研究業績リスト(論文、著書、学会発表など)、主要論文別刷(コピー可)、現在までの研究概要(1000字程度)、志望動機および抱負(1000字程度)、推薦書
応募締切	平成18年11月17日(必着)
送付先/照会先	〒102-0073 東京都千代田区九段北1-14-6 東京理科大学工学部第一部電気工学科 佐野雅敏 E-mail:sano@ee.kagu.tus.ac.jp Tel(03)3260-4271 (ext.6566) Fax(03)5213-0976 「通信・情報系応募書類在中」もしくは「エネルギー・制御系応募書類在中」と明記し簡易書留 *提出書類は返却いたしません
その他	提出(応募)書類掲載の個人情報は、本件以外の目的で使用することはありません

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科

募集人員	助手 1名(任期付)
所属	情報科学研究科システム基礎講座
専門分野	システムの形式的モデル化、制御、検証、最適化に関する理論や手法、ツールとその応用
応募資格	採用時に博士の学位を有し、上記分野の研究および教育に熱意を有する方
着任時期	平成19年1月1日以降できる限り早い時期
提出書類	履歴書、研究業績リスト(国際論文誌、査読付き国際会議、国内の論文誌、その他に分類)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、これまでの研究の概要および今後の研究計画(2000字程度)、教育への抱負(2000字程度)、紹介者2名の連絡先(E-mailアドレスを含む)
応募締切	平成18年11月24日(必着)
送付先/照会先	〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 平石邦彦 E-mail:hira@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1281 Fax(0761)51-1149 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
その他	応募の詳細は本学Webページ(http://www.jaist.ac.jp/)の求人情報を参照ください

■成蹊大学理工学部情報科学科

募集人員 助手(契約職員) 2名
 専門分野 ネットワーク分野あるいは生産工学分野
 応募資格 プログラミング(主にC++)およびハードウェア実験を担当できる方
 契約期間 平成19年4月1日～平成20年3月31日
 提出書類 履歴書, 研究業績・教育経験リスト(研究業績は査読の有無を明示), 今後の研究計画および教育についての抱負(A4用紙1枚程度)
 応募締切 平成18年12月15日(必着)
 送付先/照会先 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 成蹊大学理工学部情報科学科 主任教授 上田 徹
 E-mail:ueda@st.seikei.ac.jp Tel(0422)37-3793 Fax(0422)37-3871

■熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻

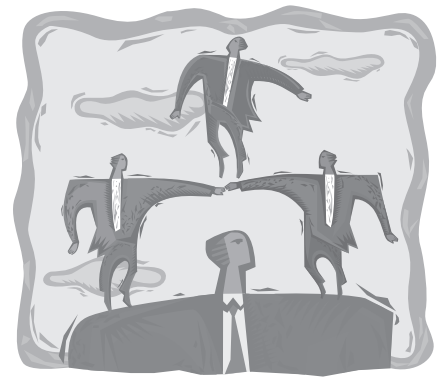
募集人員 助教授 1名
 所 属 先端情報通信工学講座
 専門分野 計算機科学基礎(特に, アルゴリズム, 組み込みソフトウェア, ハイパフォーマンスコンピューティング, グリッドコンピューティングなど)
 担当科目 情報工学の基礎と応用に関する大学院・学部科目
 応募資格 学位:博士あるいはPh.D.の学位を有すること 年齢:40歳程度までが望ましい
 実績・能力:教育・研究および専攻・講座の運営に対して十分な能力と熱意があり, 国際的あるいは社会的な教育研究活動に積極的であること. 専門分野に優れた研究業績を有すること. 計算機科学およびその周辺を基盤として, アルゴリズムやソフトウェアの分野において新分野を切り拓いていこうとする意欲が旺盛であること. 英語による講義や研究・実験指導が可能なこと. 外国人の場合には, 学内の諸業務の遂行が可能な日本語能力を有すること
 着任時期 採用決定後できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書(市販のもので可, E-mailアドレスを連絡先欄に記入すること), 研究略歴および業績リスト(研究論文, 国際会議論文, 講演発表, 著書, 教育歴, 取得外部研究費(科学研究費, 産学連携共同研究費, 各種助成金など), 特許取得, その他に分類し, 共著者はすべて記入のこと), 主要論文別刷(7編まで, コピー可), 教育に対する抱負(A4用紙に2000字程度), 研究に対する抱負(A4用紙に2000字程度), 所見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先・E-mailアドレス
 応募締切 平成18年12月22日(必着)
 送付先/照会先 〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1 熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻先端情報通信工学講座
 主任 末吉敏則 E-mail:sueyoshi@cs.kumamoto-u.ac.jp Tel(096)342-3629(直通)
 「先端情報通信工学講座教員(助教授)応募書類」と朱書し簡易書留 *提出書類は返却いたしません
 そ の 他 【選考方法】第一次選考:(書類審査)平成19年1月上旬の予定 第二次選考:(面接)平成19年1月中旬の予定

■熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻

募集人員 助手 1名
 所 属 先端情報通信工学講座
 専門分野 計算機工学(コンピュータアーキテクチャ, リコンフィギャラブルシステム, ハードウェア設計など)
 応募資格 学位:博士あるいはPh.D.の学位を有すること(または採用時までに学位取得見込みの方) 年齢:35歳程度以下が望ましい
 実績・能力:計算機工学およびその周辺分野において新分野を切り拓いていこうとする意欲が旺盛であること. 計算機管理ならびにネットワーク管理ができること. 学生指導・教育に積極的に取り組むことができ, 国際的あるいは社会的な教育研究活動に積極的であること. 外国人の場合には, 学内の諸業務の遂行が可能な日本語能力を有すること
 着任時期 平成19年4月1日以前
 提出書類 履歴書(市販のもので可, E-mailアドレスを連絡先欄に記入すること), 研究略歴および業績リスト(研究論文, 国際会議論文, 講演発表, 著書, 教育歴, 取得外部研究費(科学研究費, 産学連携共同研究費, 各種助成金など), 特許取得, その他に分類し, 共著者はすべて記入のこと), 主要論文別刷(5編まで, コピー可), 教育に対する抱負(A4用紙に2000字程度), 研究に対する抱負(A4用紙に2000字程度), 所見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先・E-mailアドレス
 応募締切 平成18年12月27日(必着)
 送付先/照会先 〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1 熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻先端情報通信工学講座
 主任 末吉敏則 E-mail:sueyoshi@cs.kumamoto-u.ac.jp Tel(096)342-3629(直通)
 「先端情報通信工学講座教員(助手)応募書類」と朱書し簡易書留 *提出書類は返却いたしません
 そ の 他 【選考方法】第一次選考:(書類審査)平成19年1月上旬の予定 第二次選考:(面接)平成19年1月中旬の予定

■会津大学

募集人員 教授，助教授または講師
専門分野 ユビキタス技術，組み込みシステム，インターネットコンピューティング，ITセキュリティ，イノベティブコンピューティング
担当科目 オペレーティングシステム，コンピュータアーキテクチャ，プログラミング言語，性能評価，アルゴリズムなど
応募資格 コンピュータ理工学もしくは関連分野の博士の学位を有し，学内の共通語である英語が堪能である方
着任時期 平成19年4月1日（予定）
提出書類 表書き，履歴書（学位に関する学歴，パブリケーションリスト，教育経験を含む），主要論文別刷（3編，コピー可），推薦書3通，学位記の写し，担当可能な授業科目のリストを含む補足資料（URLなど）書類はすべて英文で，E-mailにより提出
応募締切 平成19年1月31日
送付先／照会先 E-mail:fsc2006@u-aizu.ac.jp
その他 詳細はWebページ（<http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/search.html>）を参照してください



会員サービスのご案内

会員の皆様に特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照）。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門（E-mail:mem@ipsj.or.jp）までお寄せください。

◆ホテル（10～53%割引）

サンルートホテル，チサンホテル，ホテル法華クラブ，JR ホテルグループ，東急ホテルズ，プリンスホテル，第一ホテルチェーン，JR 東日本ホテルチェーン，ガーデンホテルズ，三井観光グループ／ホテル，全日空ホテルズ，都ホテルズ&リゾーツ，ホテル京急グループ，ダイワロイヤルホテルズ，エイチアールエヌ，ウィクリーマンション東京

◆レンタカー（10～48%割引）

ニッポンレンタカー，日産レンタカー，マツダレンタカー

◆パック旅行（3～7%割引）

ジェイティービー，日本旅行，近畿日本ツーリスト，東急観光，京王観光，ジャルパックサービス，エンターティメントエクスプレス

◆その他（書籍・コンピュータソフト割引販売，レンタルオフィス）

UC 丸善アカデミックカード，バーシティウェブ（教育機関所属の方はアカデミック価格で），デスカット，日本工業技術振興協会

情報処理学会 第 69 回全国大会
【大会スローガン：情報処理は社会に何を与えるか？】
一般・学生セッション、デモセッション
講演募集案内

【会期】2007年3月6日(火)～8日(木)
【会場】早稲田大学 大久保キャンパス
 (東京都新宿区大久保 3-4-1)

第 69 回全国大会ホームページ
<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/69kai/>

有
料
会
告

情報処理学会では、第 69 回全国大会の一般・学生セッション、デモセッションの講演申込受付を以下のとおり行います。毎回 1,000 件を超える発表申込を頂き活発な議論、意見交換、交流が行われております。皆様の研究成果発表の場として、是非とも奮って御申込下さい。

【募集分野】

- 以下の分野で募集を行います。
 詳しくは第 69 回全国大会ホームページをご覧ください。
1. アーキテクチャ
 2. ソフトウェア科学・工学
 3. データベースとメディア
 4. 人工知能と認知科学
 5. ネットワーク
 6. セキュリティ
 7. インタフェース
 8. コンピュータと人間社会

【講演募集内容と使用言語】

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
 (情報技術の学術・技術の振興に寄与する研究成果の発表)
2. 発表は日本語または英語とします。

【講演申込資格】

申込種別	資格
一般セッション	不問
学生セッション	高専・大学学部・修士(博士前期課程)在学者
デモセッション	不問

【講演時間(質疑応答含む)、論文頁数】

講演申込種別	講演時間	原稿頁
一般セッション	20 分	2 頁
学生セッション	15 分	2 頁
デモセッション	1-3 日(1 日単位)	2 頁(提出任意)

【講演申込・原稿投稿日程】

講演申込・原稿投稿受付開始:平成 18 年 9 月 15 日(金)
 講演申込・修正・取消 締切日:平成 18 年 11 月 24 日(金)
 原稿投稿・差換え締切日 :平成 19 年 1 月 12 日(金)

【講演申込・原稿投稿方法】

講演申込、原稿投稿は、標記の第 69 回全国大会ホームページからお願い致します。

【講演申込にあたっての注意事項】

- *講演申込締切後の申込情報変更は、一切受け付けません。
- *講演の代理(代読)は原則として認めません。
- *講演キャンセルの連絡は、必ず電子メールにて次のアドレスまでお願い致します。[ipsj@gakkai-web.net]

*講演申込登録締切後に講演をキャンセルされましても、講演参加費および論文集代(希望者のみ)はお支払い頂くこととなりますのでご注意ください。

【講演参加費・講演論文集代(税込)】

申込種別	会員種別	費用(税込み)
一般セッション 学生セッション デモセッション	正会員	10,000円
	学生会員	6,000円
	一般非会員	25,000円
	学生非会員	15,000円
講演論文集(希望者のみ)	全種別	3,000円

- *会員とは、講演者が 本会(含む入会申請中)、電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ちの個人会員の方です。講演申込締切後に入会されても講演参加費の金額変更はいたしませんのでご注意ください。
- *講演参加費には、講演料、本人論文の別刷 50 部、全論文収録の CD-ROM、大会参加費が含まれます。
- *講演者の方には、ご自身の論文が掲載されている講演論文集 1 部に限り、講演申込同時予約販売をいたします。ご希望の方は、講演申込書またはデモセッション申込書の講演論文集欄を「希望する」にチェックしてください。
- *デモセッションは上記講演参加費で 1 日デモを行えます。従って 2 日デモを行う場合には 2 倍、3 日ならば 3 倍の講演参加費が必要となります。
- *一般または学生セッションでの講演とデモセッションを行う場合には、一般または学生セッションの講演参加費とデモセッションの講演参加費それぞれが必要となります。

【表彰について】

全国大会では、発表された論文の中から優秀な論文、発表に対して以下の賞を贈呈いたします。なお、大会優秀賞、大会奨励賞については、当会の個人会員に限ります。

賞の種類	受賞者
大会優秀賞	全国大会で発表された方のうち、特に優秀な論文の登壇発表者 10 名前後。
大会奨励賞	学部在学から卒業後 10 年までの新進の科学者または技術者の論文の登壇発表者 10 名前後。
学生奨励賞	各学生セッションで発表された中から、優秀な発表と判断された 1 名に対して大会のローカルアワードとして授与(該当なしの場合もあり)。

【講演機器】

講演機器は、プロジェクターになります。接続ケーブルは、D-sub15 ピンです。プロジェクターの解像度は、XGA(1024×768)対応となっております。
 ノート PC は、準備しておりませんので各自で必ずご持参願います。

【大会最新情報の掲載】

講演申込に関する詳細、大会で開催予定の招待講演、特別セッション等イベント企画の詳細等第 69 回全国大会に関する最新情報は大会ホームページへ逐一掲載してまいりますので御確認下さい。

【問合せ先】

社団法人情報処理学会 事業部門
 Tel.03-3518-8373 Fax.03-3518-8375
 e-mail:jigyo@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ、1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。
 [募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]
 * なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

(社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

会誌「情報処理」48巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地297mm×左右210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・応募資格は問いません。
- ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

- ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は（社）情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成18年11月1日（水）（必着）

結果通知 平成18年12月下旬

賞金 採用者1名に5万円

送付先/照会先 （社）情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

会 員 各 位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています。

最近この目的をはずれ、「広告、諸勧誘、商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが、このような行為は厳重に謹んでください。名簿を廃却される場合にも、再利用されることのないようご注意願います。

また、上記不正利用にあてはまらない場合でも、受け取った相手が不愉快な思いをされないよう、節度を持った利用をお願いいたします。

当会では、現在会員名簿を発行しておりません。

学生会員のみなさまへ

平成18年度研究会の中から
無料で1件登録できます！

今すぐ
チェックして
申し込もう！



<平成18年度研究会一覧>



お申し込み

登録希望研究会の申込欄に○をご記入ください。
無料申請は1件のみです。



事務局へ FAX (03-3518-8375)

年 月 日

会員番号

E-Mail

フリガナ
氏 名

お問合せは

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 1-5

化学会館 4F

(社) 情報処理学会 研究部門 調査研究担当

Tel(03)3518-8372 (研究部門直通)

Fax(03)3518-8375 (共通)

E-mail:sig@ipsj.or.jp

データベースシステム
ソフトウェア工学
計算機アーキテクチャ
システムソフトウェアとオペレーティング・システム
システム LSI 設計技術
ハイパフォーマンスコンピューティング
プログラミング
アルゴリズム
数理モデル化と問題解決
組込みシステム
マルチメディア通信と分散処理
ヒューマンインタフェース
グラフィクスと CAD
情報システムと社会環境
情報学基礎
オーディオビジュアル複合情報処理
グループウェアとネットワークサービス
分散システム/インターネット運用技術
デジタルドキュメント
モバイルコンピューティングとユビキタス通信
コンピュータセキュリティ
高度交通システム
高品質インターネット
システム評価
ユビキタスコンピューティングシステム
自然言語処理
知能と複雑系
コンピュータビジョンとイメージメディア
コンピュータと教育
人文科学とコンピュータ
音楽情報科学
音声言語情報処理
電子化知的財産・社会基盤
ゲーム情報学
エンタテインメントコンピューティング
バイオ情報学

詳しくはこちら
Web から申し込めます



<http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/toroku.html>

書評・会議レポート募集のお知らせ

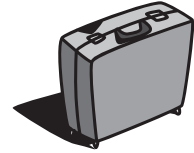
情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評 : 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



3. 応募の手続き

- 1) 表題: 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名(会議レポートの場合は筆署名)・所属・評者連絡先(住所、E-mail、Faxなど)の記載を忘れずに。
- 3) 本文: 書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- 4) (必要であれば)参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>)を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会/応募先 (社)情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

情報処理学会の会員になりませんか!

社団法人情報処理学会は、ITに関する専門家集団として21世紀情報化社会の発展に向け、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

情報処理学会はIT分野の皆様のお役に立ちます。

新規会員
募集中

■活動の概要

- 機関誌(「情報処理」「情報処理学会論文誌」)の発行
- 各種行事の開催(研究発表会、全国大会、情報科学技術フォーラム(FIT)、シンポジウム、連続セミナー他)
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■ご入会いただくとこんな良いことがあります

- 1 最新技術を紹介する機関誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。
- 2 電子図書館(BookPark)で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。
- 3 「連続セミナー」に会員価格で参加できます。
- 4 「シンポジウム」に会員価格で参加できます。
- 5 「研究発表会」に会員価格で参加できます。
- 6 出版図書が会員割引で購入できます。
- 7 《学生会員の方は》お好きな研究会を1つ無料で登録できます。
- 8 《学生会員の方は》IPSIJ Digital Courier に論文が掲載されると、船井財団により表彰され賞金がもらえます。

■会員になるには

会費等をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。詳しくは以下をご覧ください。

↓
www.ipsj.or.jp

- 個人会員
 - 正会員: 当学会の中心的会員で、IT分野に携わる個人
 - 学生会員: 学校に在学中の個人
 - 準会員: 専門外の高校、中小学校等の教職員、地方自治体等に勤務の個人
 - 名誉会員: 当学会の活動において特別な功績のあった個人
- 賛助会員: 当学会の活動をサポートする法人

(社)情報処理学会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

ご意見をお寄せください!

【10月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4709.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか? : (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2006年9月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
特集：ビジネスグリッドコンピューティング
1. ビジネスグリッドの狙い 10-1-
2. ビジネスグリッド技術解説 10-2-
3. ビジネスグリッドの実証実験 10-3-
4. ビジネスグリッド関連技術動向と標準化活動 10-4-
5. ユーティリティサービスを実現する GridASP 10-5-
グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術：グリッドと SOA との意外な関係 10-6-
SNS の現在と展望 10-7-
研究会千夜一夜：連載開始にあたって 10-8-
携帯電話機のソフトウェアプラットフォーム 10-9-
動向情報の要約と可視化 10-10-
ナレッジマネジメント：ナレッジマネジメントによる “知の共鳴” 10-11-
オープンソース事情：Ruby 成功の秘訣 10-12-
標準化よもやま話：JPEG 特許に関する最近の話題 10-13-
21 世紀のコンパイラ道しるべ...COINS をベースにして：コンパイラ・インフラストラクチャ COINS を用いた SSA 最適化 (その2) 10-14-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

手元に「情報処理」通巻460号(2003年6月号)があります。特集「グリッドコンピューティング」を同じくゲストエディタとしてお手伝いさせていただきました。あれから3年の月日を経て再び「ビジネスグリッドコンピューティング」の特集に携われたことを光栄に思います。3年の間に国主導の研究開発プロジェクトが立ち上がり、一定の評価を得るようになってきました。しかし、それでも「グリッド」はよく分からないという声を聞きます。「パソコンを並べたやつだよ」という誤解もまだあるようです。また「仮想化」「SOA」などとの違いも難しいようです。そこで、最近ではグリッドベンダ企業の営業の方々に「グリッドを売りに行ってはいけない」と申し上げています。お客さんの方もここぞとばかり興味津々に自分の知識を整理しようとするのですが、中途半端な知識だと逆に混乱を深めてし

まいます。お客さんの要求項目をじっくり聞けば、運用コストの低減、安定稼働、負荷変動への動的な対応など、グリッド技術の得意分野で必ず求められているものがあります(待ってました)。「それを解決する方法がありますよ、ちなみにグリッドと呼ばれているのですけれど」といえば商談成立間違いなしです。こうした、ビジネスに付加価値を与えるグリッド技術がビジネスグリッドです。前回の特集は科学技術への応用が中心でしたが、今回の特集にはスパコンもパソコンも出てきません。しかし、グリッドは着実に社会に浸透してきています。著者やエディタの皆様の創意工夫により随分と分かりやすい記事が集められました。少しでも読者の理解の一助になることを願っております。

(関口智嗣/本特集ゲストエディタ)

次号(10月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」新世代ネットワーク

新世代ネットワークのビジョン/新世代ネットワークへの期待と課題/キャリアIPネットワークの最新動向/キャリアから見たNGNの位置づけと要素技術/新世代ネットワークを支えるルータ・スイッチと技術/新世代ネットワークとインターネット/新世代ネットワークにかかわる標準化動向/新世代ネットワークによって変わる社会

解説

通信サービス構築の観点から見る携帯電話網におけるモバイルIP 浅見 徹
モバイルセキュリティを強化したシンクライアントソリューション 新井利明

連載 これからの情報処理学会/グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術/ナレッジマネジメント/21世紀のコンパイラ道しるべ・COINSをベースにして

コラム オープンソース事情/標準化よもやま話/私の情報整理術

複写される方に

☐ <学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記のIn the USAに記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright

Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

http://www.copyright.com

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20～50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)



NTTコムウェア
NTTコムウェア (株)



(株) NTTドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

日本電気 (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

OKI

沖電気工業 (株)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立アドバンスデジタル

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約90名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375